

神鋼商事株式会社

2025年度 第3四半期
決算説明資料

CONTENTS

- 01 2025年度第3四半期 連結業績概要
- 02 2025年度 通期 連結業績見通し
- 03 中期経営計画の進捗状況
- 04 参考資料

CONTENTS

- 01 2025年度第3四半期 連結業績概要
- 02 2025年度 通期 連結業績見通し
- 03 中期経営計画の進捗状況
- 04 参考資料

2025年度第3四半期 決算概況

- 日系自動車生産の減少や輸送コスト増加の影響等に伴い金属本部は減益の一方で、非汎用圧縮機やヒートポンプなどの機械設備の納入、メンテナンスサービスが好調に推移し、第2四半期に引き続き、機械ユニットが収益を下支え
- 原料ユニットは、海外出資先炭鉱やバイオマス発電所の操業不調を受け大幅減益も、一部炭鉱の操業が再開したことに加えて、バイオマス発電所の再開も見込まれている
- 社会のサステナビリティに資するブラックバークペレット製造事業やアルミ高度選別リサイクル事業への投資を決定しました（参照：[中期経営計画の進捗状況](#)）

売上高

4,457 億円

(前年同期比 △193億円 △4.2%)

営業利益

86 億円

(前年同期比 △18億円 △17.6%)

経常利益

86 億円

(前年同期比 △9億円 △9.1%)

親会社株主に帰属する四半期純利益

63 億円

(前年同期比 △5億円 △7.4%)

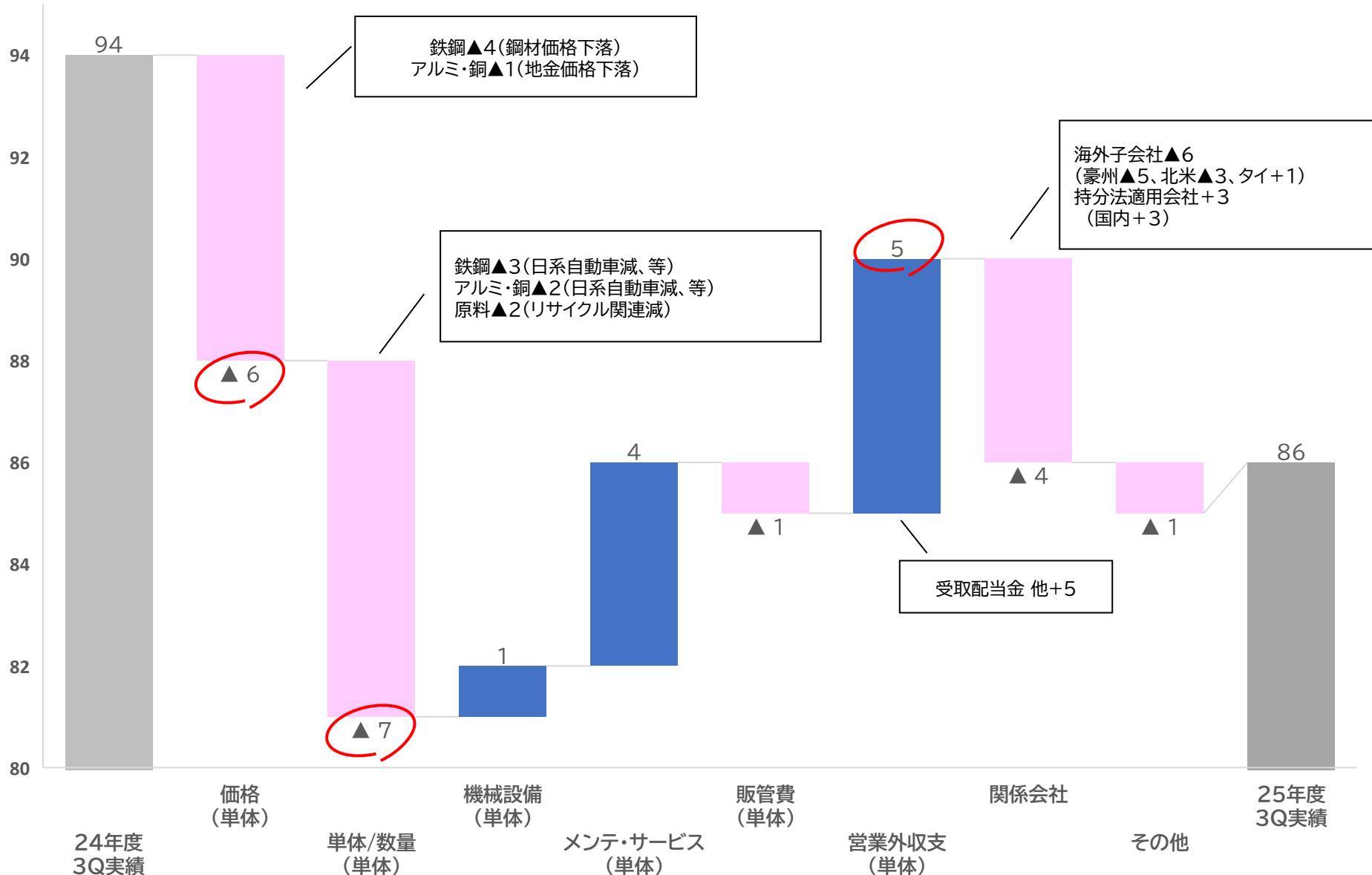
2025年度第3四半期 損益計算書

- 売上高は、取扱数量減少及び鋼材価格下落が影響
- 経常利益は、機械本体やメンテナンスサービス、投資先業績の好調による影響があったものの、自動車向け素材ビジネスの取扱い減少や原料ユニットの減益が影響
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式の売却益が寄与

(単位:億円)	2024年度3Q ①	2025年度3Q ②	増減額 ③=②-①	増減率 ④=③/①
売上高	4,650	4,457	▲193	▲4.2%
売上総利益	306	288	▲18	▲6.0%
販売管理費	202	202	▲0	▲0.0%
営業利益	104	86	▲18	▲17.6%
経常利益 (経常利益率 %)	94 (2.02%)	86 (1.92%)	▲9 (▲0.1%)	▲9.1% -
親会社株主に帰属する 四半期純利益	68	63	▲5	▲7.4%
1株当たり 四半期純利益 (円)	256.58円	237.54円	▲19.0円	▲7.4%

※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、2024年度の1株当たり当期純利益は3分割調整後の数値しております。

2025年度第3四半期 業績:全社 経常利益 前年同期比

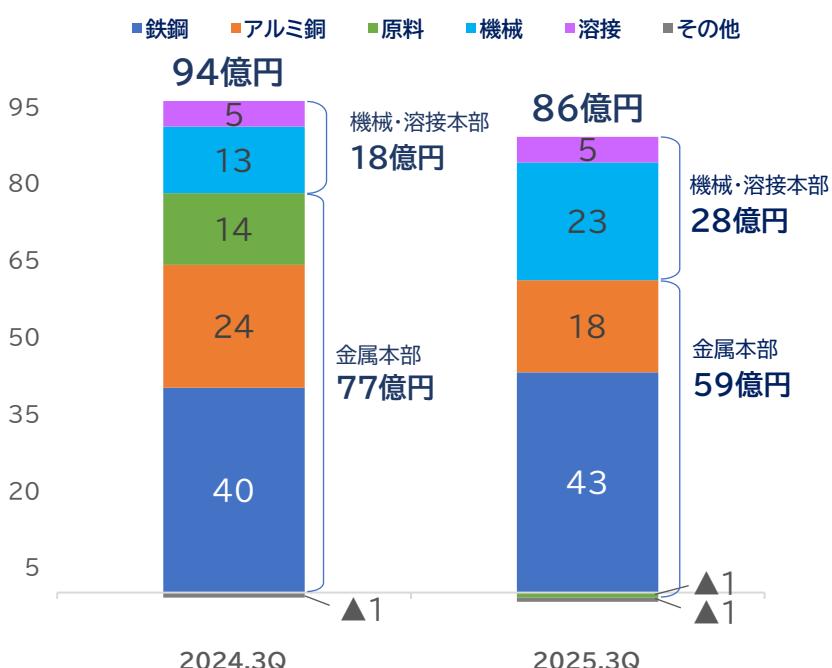


2025年度第3四半期 ユニット別業績概要 前年同期比/増減

- 鉄鋼ユニット : 自動車や建設向け需要減少も、投資先配当増
- アルミ・銅ユニット : 自動車向けアルミ板の減益、銅系原料の取扱量減少、銅地金の損益影響
- 原料ユニット : 粗鋼生産低調による鉄鋼原料取扱減少及び価格下落、海外出資先炭鉱やバイオマス発電所の操業不調
- 機械ユニット : 注力している脱炭素関連機器(ヒートポンプ 他)及びメンテナンスサービスの取扱い増加、国内子会社における電気溶解炉の取扱い増加
- 溶接ユニット : 溶接材料および溶接機器の取扱い堅調

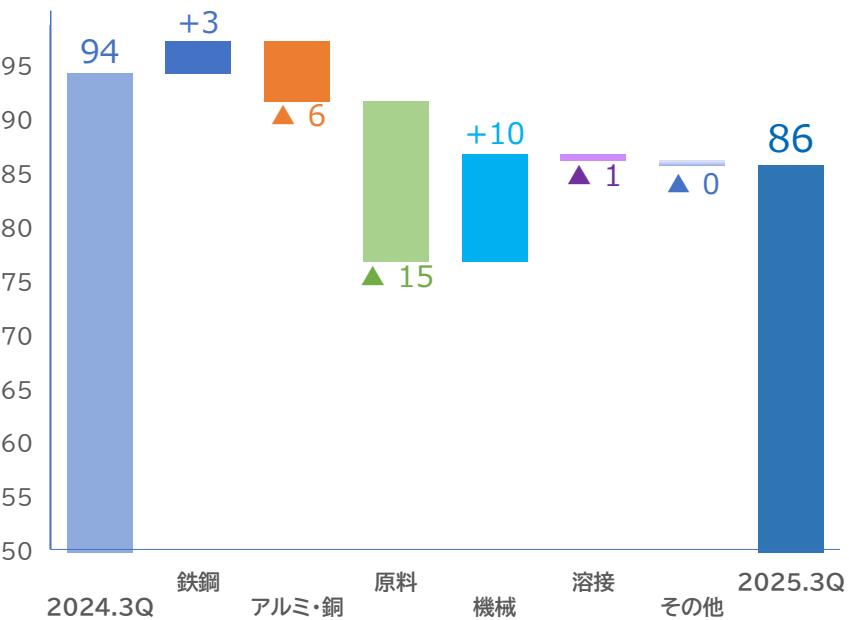
ユニット別経常利益 比較

(単位:億円)



ユニット別経常利益 増減

(単位:億円)



バランスシートの状況

(単位:億円)	2024年度 3月末 (2025/3月)	2025年度 12月末 (2025/12月)	増 減
流 動 資 産	3,375	3,356	▲20
固 定 資 産	493	520	26
内訳 有形・無形固定資産	107	102	▲4
投資その他の資産	387	417	31
資 産 合 計	3,869	3,875	7
流 動 負 債	2,722	2,705	▲17
固 定 負 債	217	198	▲19
負 債 合 計	2,939	2,903	▲36
自 己 資 本	914	953	39
非 支 配 株 主 持 分	15	19	4
純 資 産	930	972	42

外部有利子負債	613	606	▲7
自己資本比率	23.6%	24.6%	1.0%
D/Eレシオ	0.7倍	0.6倍	▲0.1倍
1株当たり純資産(※)	3,461.4円	3,606.6円	
期末株価(※)	1,914円	2,531円	
PBR	0.55倍	0.70倍	

※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、1株当たり純資産と期末株価については、3分割調整後の数値を記載しております。

CONTENTS

- 01 2025年度第3四半期 連結業績概要
- 02 2025年度 通期 連結業績見通し
- 03 中期経営計画の進捗状況
- 04 参考資料

2025年度通期 業績見通し

- 金属本部の鉄鋼およびアルミ・銅の取扱数量は、日系自動車生産台数の回復基調を背景に、増加傾向
- 原料ユニットでは、海外出資先炭鉱の操業が再開したことに加え、バイオマス発電所の操業も近く再開予定
- 機械ユニットでは、非汎用圧縮機やヒートポンプなどの機械設備の納入、メンテナンス・サービスが好調を持続し、通期で増益見込み

売上高

6,370 億円前年比：+198 億円
3Q進捗率：70%

営業利益

119 億円前年比：△13 億円
3Q進捗率：72%

ROE

10.0 %

前年比：+0.3 %

経常利益

120 億円前年比：+2 億円
3Q進捗率：71%

親会社株主に帰属する四半期純利益

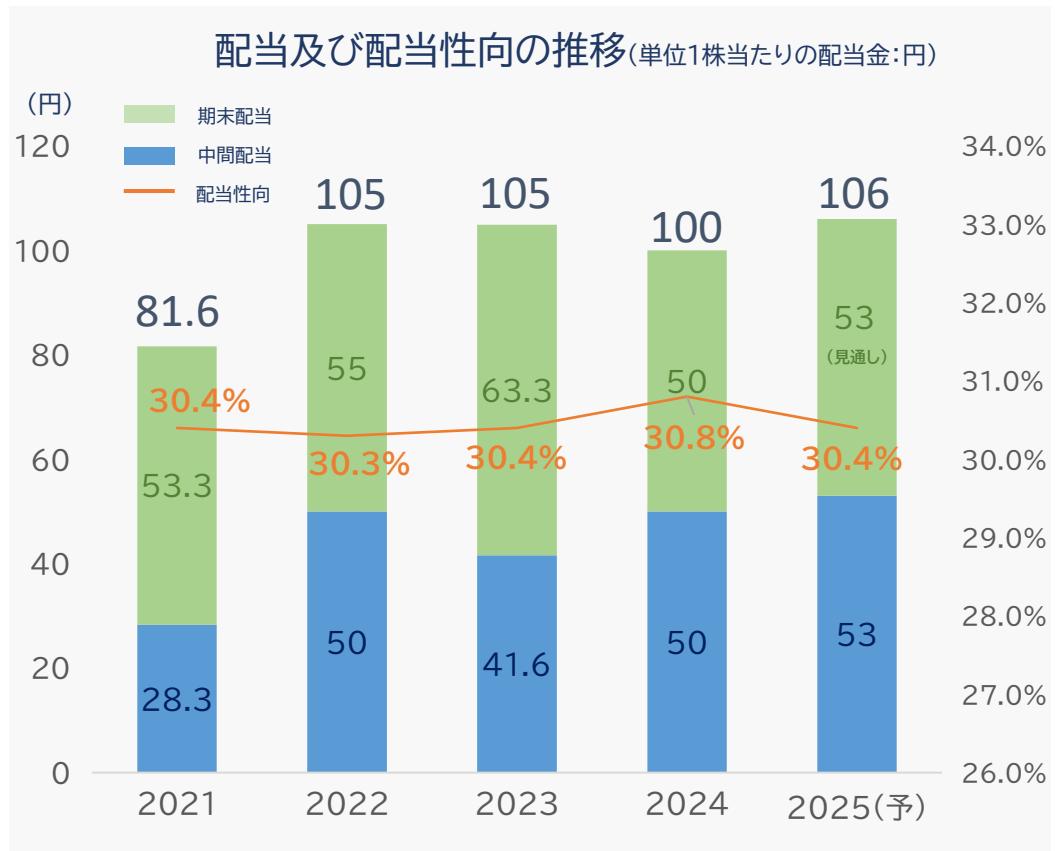
63 億円前年比：+6 億円
3Q進捗率：68%

ROIC

6.3 %

前年比：+0.2 %

- 「中期経営計画2026」での配当方針は、「連結配当性向 30%以上、または 1 株あたり配当 100 円のいずれか高い方とする」としております。
- 前回公表値の年間配当金106円を据え置いております(中間53円、期末53円)。



2025年度年間配当

中間配当
(基準日:2025年9月30日) **53** 円/株

期末配当
(基準日:2026年3月31日) **53** 円/株
(見通し)

**2025年度
期末配当** **106** 円/株
(見通し)

※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、2021年～2024年のグラフについては、3分割調整後のグラフとしております。
2021年～2024年の()内の数値は、株式分割調整前の数値、2025年度の()内は株式分割前を想定した数値としております。

CONTENTS

- 01 2025年度第3四半期 連結業績概要
- 02 2025年度 通期 連結業績見通し
- 03 中期経営計画の進捗状況
- 04 参考資料

中期経営計画進捗状況 目標数値

	初年度	計画2年度	最終年度
	2024年度	2025年度	2026年度
	実績	当初予想 (前回)	計画
連結経常利益	118億円	120億円	145億円
ROE	9.7%	10.0%	10.0% 以上
ROIC	6.1%	6.3%	6.5%
自己資本比率	23.6%	24.6%	21% 以上

外部有利子負債	613億円	(D/Eレシオ0.7倍以下を目安とし、資金調達を最適化)	
D/Eレシオ	0.7倍	0.6倍	0.7倍以下目安

中期経営計画 3つの柱と重点分野

● 鉄鋼ユニット ● アルミ・銅ユニット ● 原料ユニット ● 機械ユニット ● 溶接ユニット ● 新事業推進室



投資計画 3カ年合計
(2024年度～2026年度)

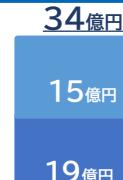
243億円 ※意思決定ベース



主な意思決定ベース内訳

半導体	神商精密(株)の設備投資時期ズレ
ものづくりの現場	工事・エンジニアリング会社M&A

利益貢献額※ 3カ年合計
(2024年度～2026年度)



今中計期間中の投資による利益貢献額



21～23年の投資による利益貢献額

中期経営計画

最新見通し

25年3月期時点の公表値

最新見通し

(※)意思決定ベース:26年度までに投資の意思決定は行うが、キャッシュアウトが27年度以降となる案件

(※)利益貢献額:連結子会社の経常利益、持分法適用会社の持分法投資損益、設備投資による収益増加分、等

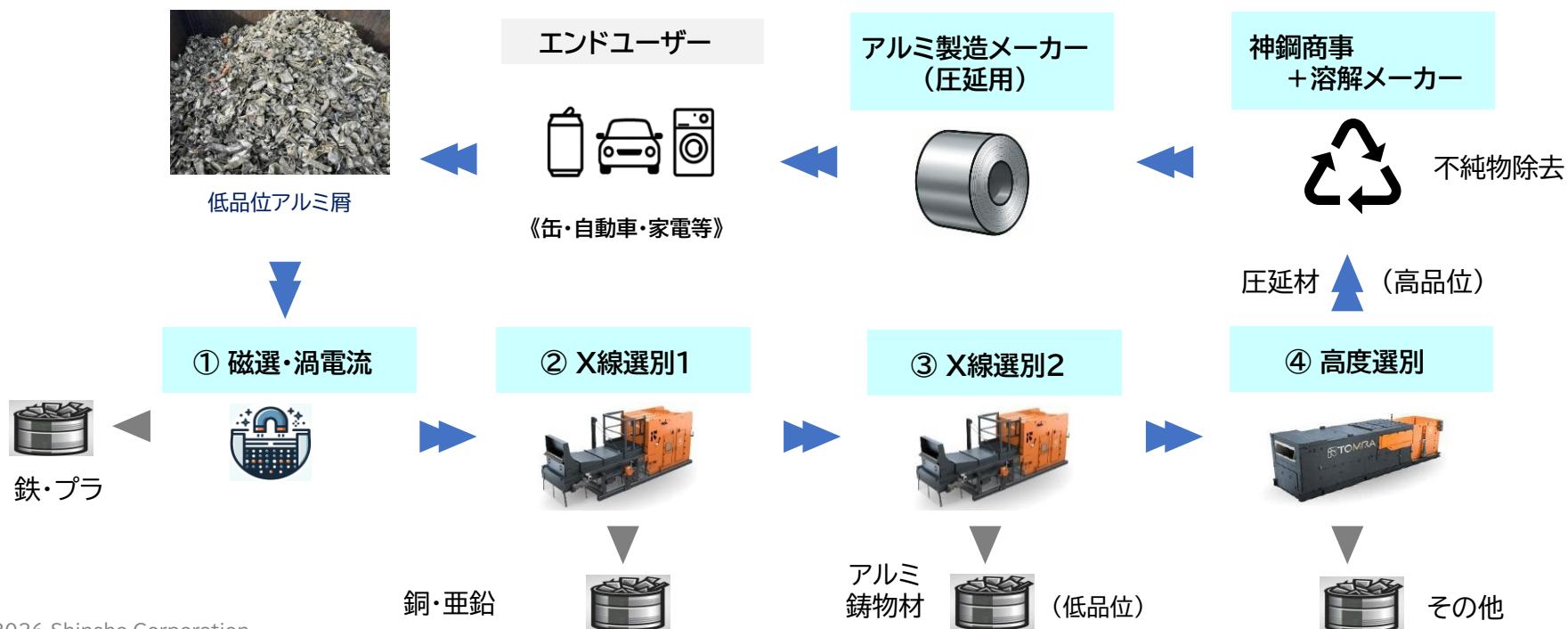


■ 課題認識と求められる対応

- ・市中で発生する低品位アルミ屑の40%が海外に流出(=エネルギーの国外流出) ➤ 国内循環の促進
- ・高品位アルミスクラップ需要の高まり 及び
EV普及によるエンジン部品用低品位リサイクルアルミ需要減(=海外流出の加速) ➤ 低品位アルミ屑の
アップグレード

■ 神鋼商事が提供するソリューション

- ・ 動静脈の連携により業界初の試みとなる低品位アルミ屑の高度選別技術確立で、
国内資源循環を促進
- ・ 全国的な事業展開も視野に



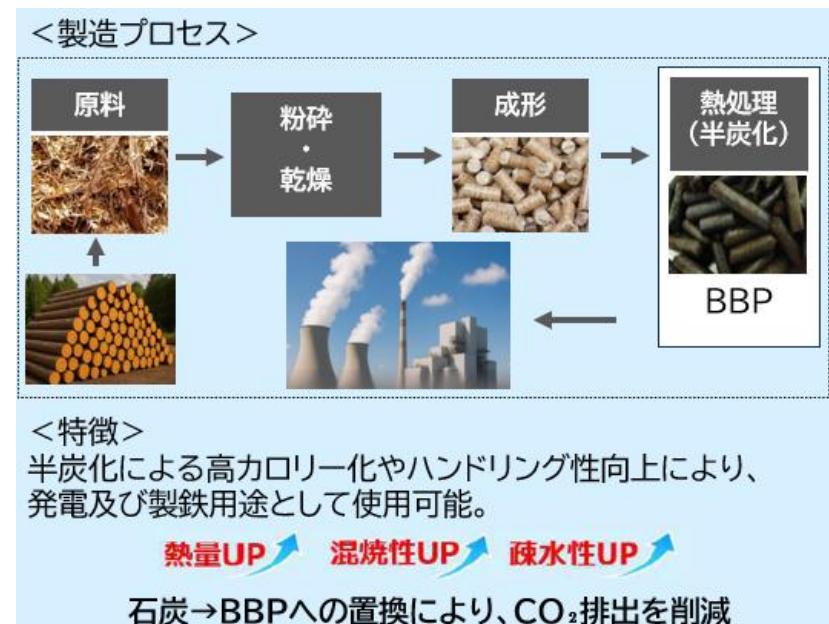
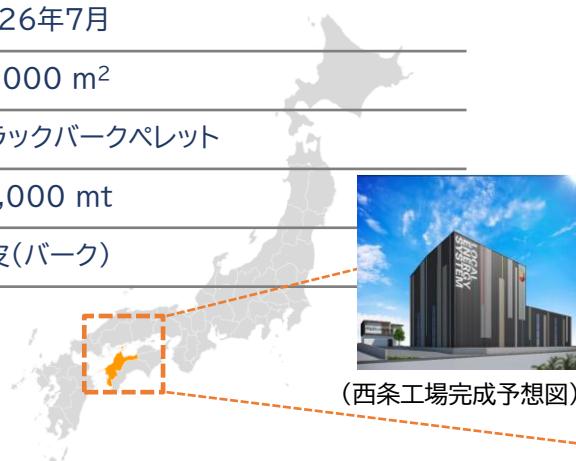


石炭の使用量を削減し、CO₂排出を削減

- 国内において、外販目的でBBP製造販売に取り組む先駆的な事例
- 国内原料、国内消費の地産地消サプライチェーンを構築
- 海外での事業推進も検討中

事業概要

会社名	ローカルエナジーシステム株式会社
本社所在地	大阪府大阪市
株主	株式会社熊谷組 神鋼商事株式会社 清本鉄工株式会社
工場名	西条工場
所在地	愛媛県西条市
竣工予定	2026年7月
敷地面積	12,000 m ²
製品	ブラックバークペレット
年間生産量	30,000 mt
原料	樹皮(バーク)



【地産地消サプライチェーン】

原料調達 : 地元製材業者
BBP製造 : ローカルエナジーシステム
販売先候補: 火力発電所

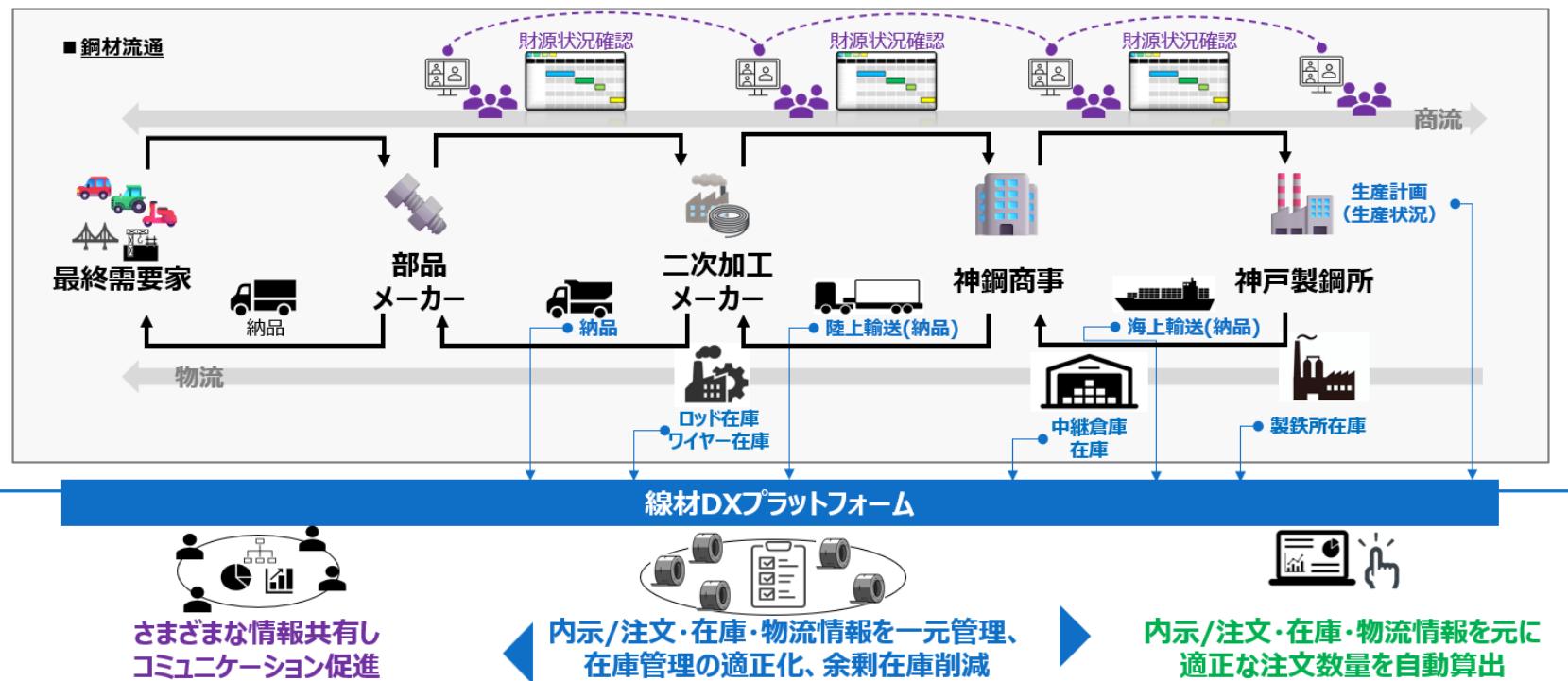


👉ここがポイント！

- KOBELCOグループの特殊鋼線材サプライチェーンに特化したDXプラットフォームを構築中。26年度中の運用開始を目指す。
- 『素材～線材二次製品(Wire)～部品』までの情報を繋ぐことにより、リアルタイムでサプライチェーンの情報を可視化

導入効果

- ◆ 在庫削減 ⇒ 需要予測と連動した推奨発注や全明細の自動線引き管理により、余剰在庫の削減及び生産タイミングを最適化
- ◆ 業務省人化 ⇒ 従来各担当者の経験値やマンパワーで行っていたデリバリーの業務ノウハウをシステム化
- ◆ 業務標準化 ⇒ 従来各担当者が個別で財源管理していたフォーマットを全需要家統一し、標準化・可視化



■ 中国における受託成膜の合弁会社設立

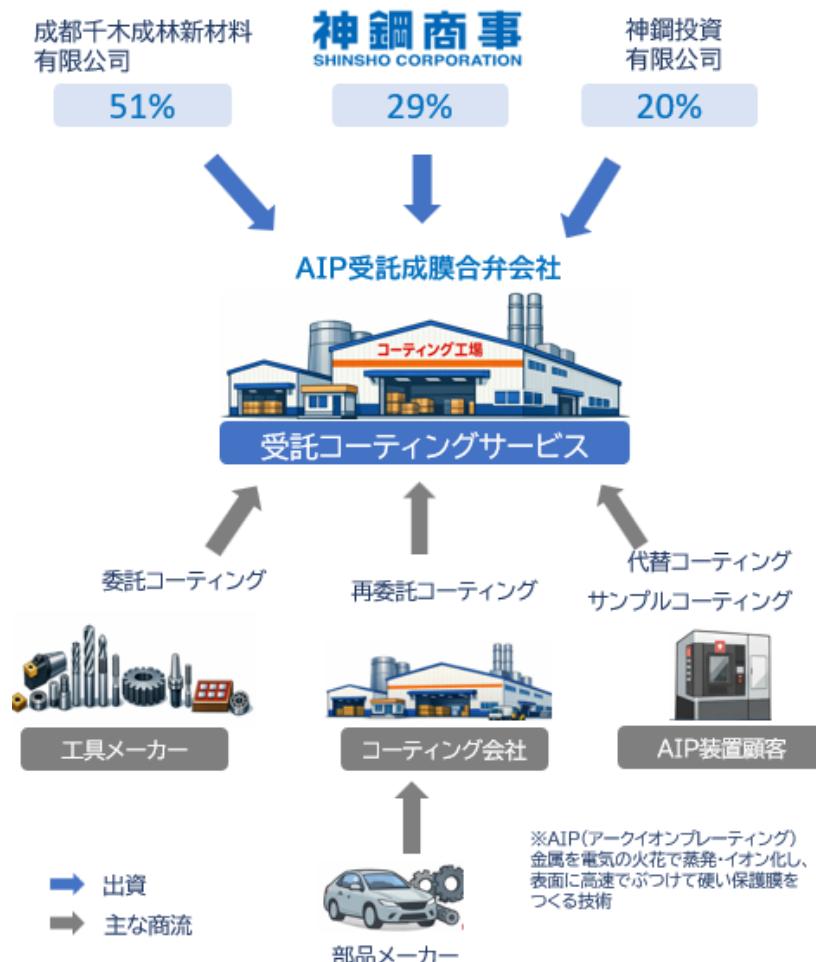
- 受託成膜事業の中国展開
- AIP装置の販路拡大
- グローバル展開への足掛かり

事業概要

会社名	神林科晶新材料(成都)有限公司 (Shenlin Techno New Material(Chengdu) Co.Ltd.)
本社所在地	中華人民共和国四川省成都市
株主	成都千木成林新材料有限公司 51% 神鋼商事株式会社 29% 神鋼投資有限公司 (神戸製鋼100%子会社) 20%
資本金	15 百万 人民元
設立時期	2025年10月
従業員数	17名
事業内容	切削工具、金型、部品向け受託成膜



新会社が入居するビル



■ 金属溶材株式会社の株式取得

- ワンストップによる事業拡大
- アルミろう等の新たななろう材市場の開発

会社概要

会社名	金属溶材株式会社
設立	1962年
本社所在地	埼玉県熊谷市
株主	神鋼商事株式会社 100% (2026年1月30日付 全株式取得)
資本金	2,000万円
従業員数	20名
事業内容	各種ろう材の成形加工販売 各種フラックスの製造販売 ろう付加工引受け



金属ろう材



埼玉工場

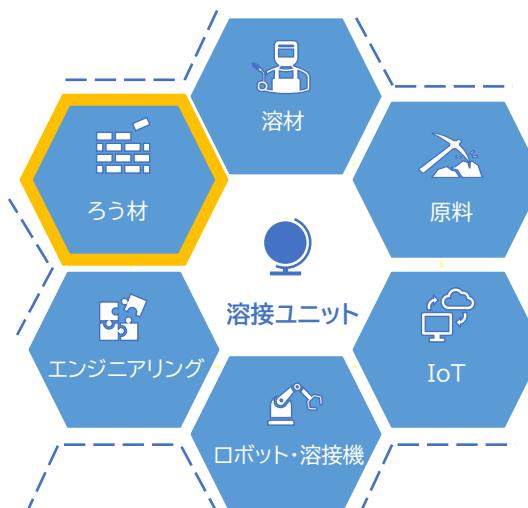
● 株式取得の背景と目的

背景

- 金属ろう材は、異種金属等を接合する為に必要不可欠な材料
- 自動車・航空機・住宅・空調機器などの幅広い分野で使用
- 今後、半導体・宇宙産業などの成長分野においても重要な役割を果たす「接合」で需要拡大が見込まれる。

目的

- 当社が取扱う溶接材料に加えて、金属溶材株式会社の各種ろう材をラインナップに加えることで、顧客に「接合ソリューション」をワンストップで提供できる体制構築。
- 従来の商社機能だけではなく、加工やものづくり領域への事業拡大を進め、アルミろう等の新たななろう材市場の開発など、機能軸の強化を図る。



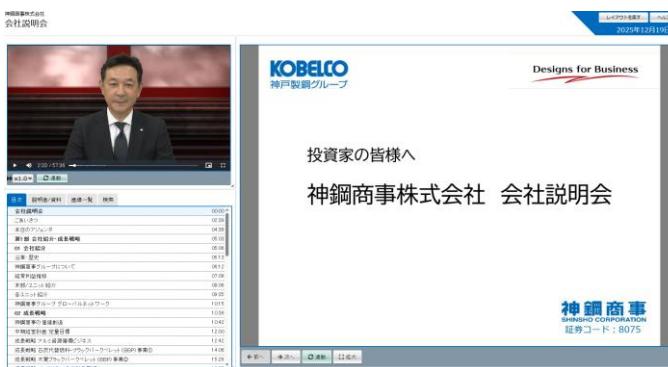
M&Aを軸に「商材」と
「機能」の領域拡大

※ろう材
接合する方法である溶着の一種。接合する部材(母材)よりも融点の低い合金(ろう)を溶かして一種の接着剤として用いる事により、母材自体を溶融させずに複数の部材を接合させることができる。

■ 個人投資家向け会社説明会の実施

当社グループは株主・投資家の皆さまとの長期的な信頼関係の構築を最重要課題のひとつと位置づけております。個人投資家の皆さんに、当社の事業内容、強み、今後の成長戦略を分かりやすくお伝えするために、個人投資家向けの会社説明会を実施いたしました。

当社は今後も積極的に情報を公開し、全てのステークホルダーの皆さんにお伝えしてまいります。



- 機関投資家・個人投資家向け説明資料
[investor_2025_1219.pdf](#)
- 説明動画
<https://webcast.net-ir.ne.jp/80752512/index.html>

■ 統合報告書、コミュニケーションガイドブックの発刊

統合報告書では、パーソンズの制定や価値創造プロセスの見直し、中期経営計画2026の進捗、人材戦略や企業価値向上への取り組み、サステナビリティ経営などをストーリーで紹介しています。

また、より手軽に当社の取り組みをお伝えしたいと考え、コミュニケーションガイドブック「価値をつくる・むすぶ・ひらく神鋼商事の力」も作成しました。統合報告書に馴染みのない方でも短時間で理解を深められる構成となっております。

【統合報告書】



【コミュニケーションガイドブック】



- 統合報告書、コミュニケーションガイドブック
https://www.shinsho.co.jp/ir/library/integrated_report.html

CONTENTS

- 01 2025年度第3四半期 連結業績概要
- 02 2025年度 通期 連結業績見通し
- 03 中期経営計画の進捗状況
- 04 参考資料

神鋼商事 株式会社

(2025年9月末時点)

業態	商社
証券コード	東京証券取引所 プライム市場(8075)
住所	<p>【大阪本社】 大阪府大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア) 【東京本社】 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋)</p>

創業	1946年11月12日
連結子会社数	41社
従業員数	連結:1,507名(内、平均臨時雇用者数 80名) 単体: 529名(内、平均臨時雇用者数 55名)
単元株式数	100株
事業内容	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業、溶材各製品の売買及び輸出入



神戸製鋼所の全額出資
により大阪・北浜に
太平商事(株)を創立
東京支社を設立

グローバル展開

1946

米国、タイ、中国、
インド等を中心に
グローバル拠点を
拡大

●流通系

2011年

- ・(株)マツボーを子会社化

2014年

- ・コベルコ筒中トレーディング(株)
を子会社化

2015年

- ・KTN Co., Ltd.を子会社化

2016年

- ・中山金属(株)を子会社化
- ・エスシーウエル(株)を子会社化

2019年

- ・コベルコ筒中トレーディング(株)
と中山金属(株)を合併し、
神鋼商事メタルズ(株)に社名変更
非鉄子会社の流通再編

2023年

- ・稻垣商店を連結子会社化

事業投資促進

2026年 創立80周年

2010年代～

●ものづくり系

2018年

- ・森本興産(株)を子会社化

2021年

- ・神商精密器材(揚州)有限公司を
子会社化

- ・TRACK DESIGN INDIA 設立
アルミ水平リサイクル本格稼働

2022年

- ・脱炭素ファンドへの出資

2023年

- ・KTN METAL VIETNAMを設立
- ・ちとせグループへの出資開始

2024年

- ・アルミチャンバー合弁会社設立
(神商精密株)
- ・アルミ資源循環ビジネスの強化
- ・日本グラニュレーターを子会社化
- ・KGモーターズへの出資

2025年

- ・アルミ建材スクラップ格上げ事業
- ・アルミ資源循環ビジネスの強化
- ・アルミニサイクル事業・合弁会社
設立 (田口金属)
- ・ブラックバーカペレット事業参画
- ・AIP受託成膜加工事業合弁会社
設立

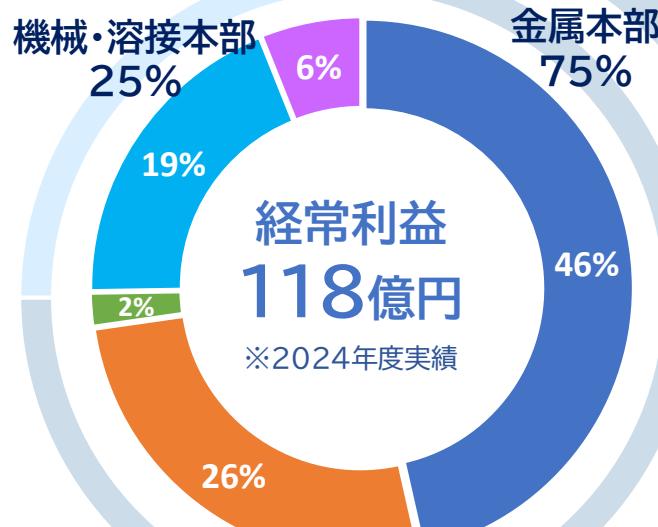
2026年

- ・ろう材の成形加工販売会社・金属溶材(株)
を子会社化

100年
企業へ

素材系

金属本部



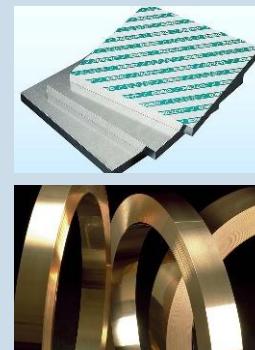
機械系

機械・溶接本部

鉄鋼ユニット



アルミ・銅ユニット



原料ユニット



機械ユニット

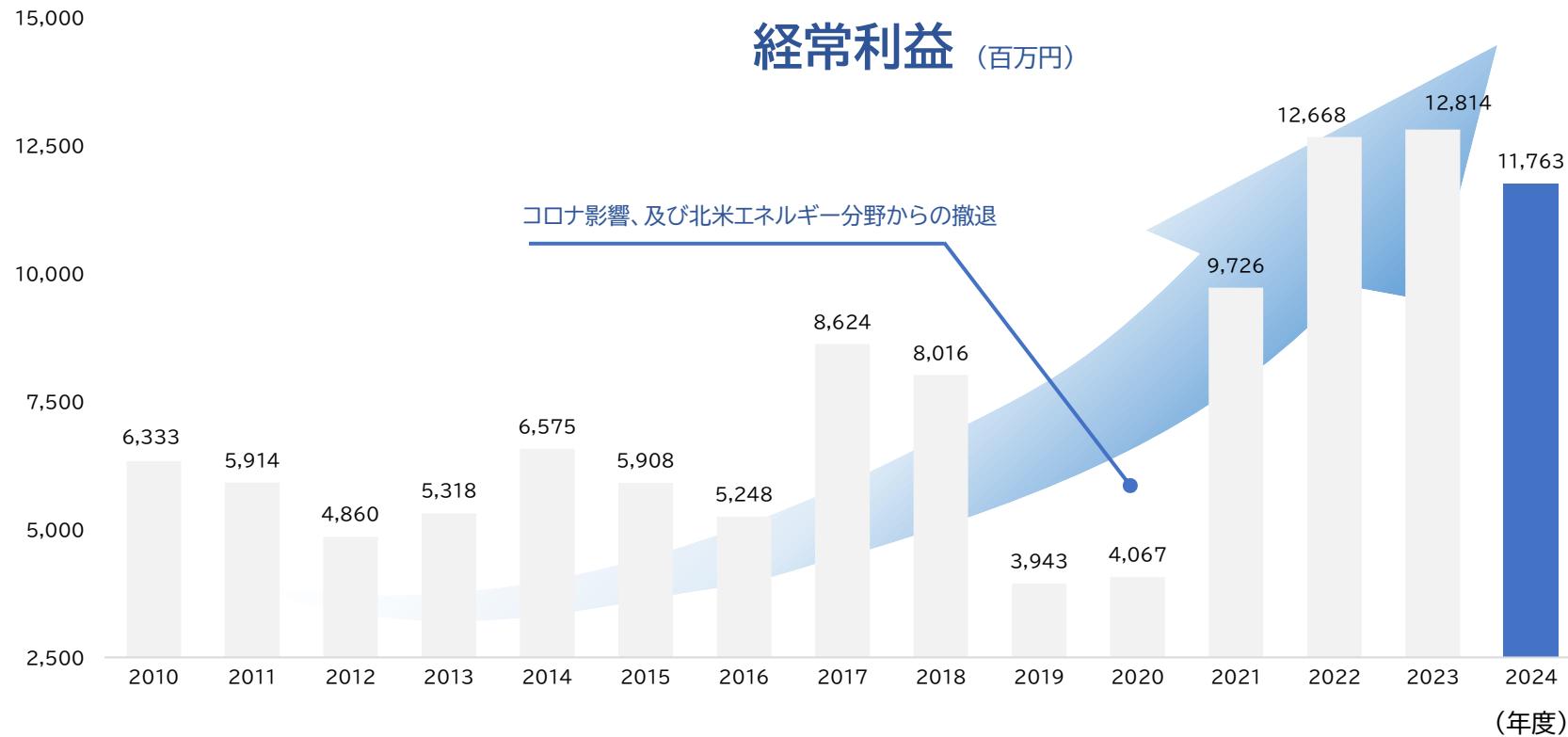


溶接ユニット



新事業推進室

社会的価値のある
サステナブル新規事業



2010年度
(2011/3月期)

2020年度
(2021/3月期)

2024年度
(2025/3月期)

2010年度対比

経常利益

63億円

41億円

1.9倍

純資産額

261億円

572億円

3.6倍

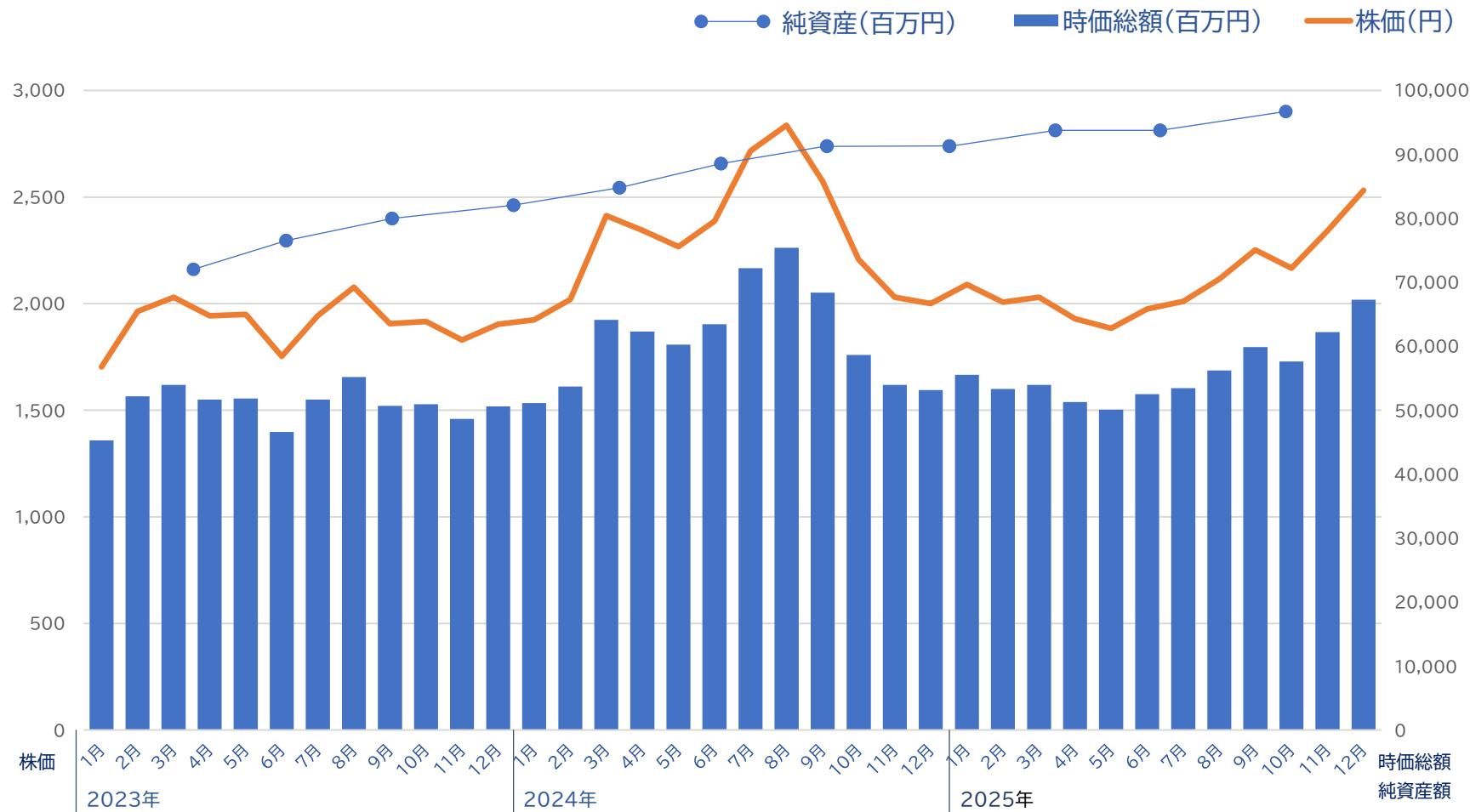
時価総額

189億円

199億円

2.7倍

株価・時価総額の推移



企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

パーパス

自ら変化に挑む
人の力で価値をつくり・むすび・ひらき
ワクワクする未来を創造する

本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点
で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な
要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料
のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。
本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。

お問合せ先：神鋼商事株式会社 総務部 IR・広報チーム



ir.shinsho@kobelco.com